



▲前列左から、スポーツ奨励賞の荒川さん・中山さん、宮管教育長、佐藤町長、功勞者の大東さん、善行者の丸玉木材(株)。後列左から、功勞者の中川さん・迫田さん。

文化の日・功勞者等表彰式
町功勞・善行者に5人と1団体、
スポーツ賞に2人が表彰を受ける

11月3日、津別町功勞者・善行者の表彰式と、スポーツ賞の顕彰式が中央公民館で行われました。今年度の受賞者は、功勞者・善行者が5人と1団体、スポーツ奨励賞が2人です。

功勞者・善行者は町長から、スポーツ奨励賞は教育長からそれぞれ表彰状と記念品が贈られ、最後に全員を代表して社会福祉功勞者の大東勲さんが謝辞を述べました。

津別町の功績者たちに、参加者からは大きな拍手が送られていました。なお功勞者の三島さんと善行者の川村さんはご都合により欠席されました。



ソフトテニスとトランポリンで活躍
小・中学生10人を教育委員会顕彰

スポーツ競技の全道・全国大会で優秀な成績を収めた、津別小学校および津別中学校の児童・生徒10人が津別町教育委員会顕彰を受け、11月12日、教育長室で顕彰式が行われました。

顕彰されたのは、中体連第39回北海道中学校ソフトテニス大会女子団体戦で3位入賞を果たした、津別中学校ソフトテニス部の6選手(田島綾夏さん、八鍬優音さん、佐々木里奈さん、植松歩有子さん、亀井遥さん、眞鍋碧さん)、と第34回北海道ジュニアトランポリン競技選手権大会個人競技等で、3位以内に入賞し、全国大会にも出場した津別トランポリンクラブの4選手(兼平陽季くん、乃村朋紀花さん、柏葉幸音さん、加藤瑠菜さん)です。

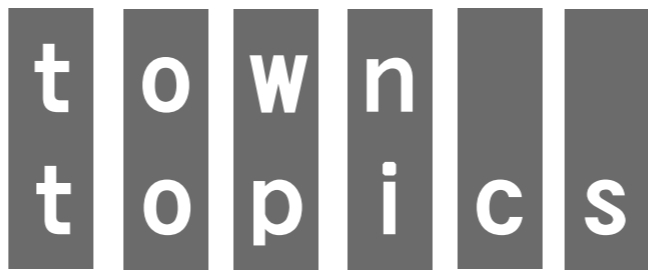
顕彰式では、宮管教育長が選手一人ひとりに賞状と記念品を手渡し、健闘をたたえました。



花壇コンクール表彰式と育苗講習会を開催
今季の努力をたたえ、来季に向けた講習会を実施

第40回花壇コンクールの表彰式が、11月13日、林業研修会館で開催されました。コンクールは、津別町花のまち推進協議会(荒川博明会長)の主催によるもので、入賞した7団体に会長から賞状が贈られました。

表彰後は、花いっぱい運動の育苗を担当している育苗者連絡協議会が、各花壇に配布されている花をどのように育てているかの講話や、家庭でできる簡単な花の育て方を実演。参加者たちも、会場に持ち込まれたイレシネとテラノセラの苗と土で「挿し苗」を体験しました。



まちのわだい



東京つべつ会総会
忘れがたき故郷をしのび
在京の出身者らが集う

10月28日、今年度の東京つべつ会(米澤聡会長)の総会が、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで開催されました。

会は、主に東京都とその近県に在住する津別町出身者や津別町にゆかりのある方によって組織され、毎年総会を開催し親睦を図っています。

総会が行われた後、祝賀会が開催され、津別産の食材をふんだんに使った料理を味わいながら、「タウンニュースつべつ」の上映で懐かしい故郷に思いをはせ、津別ゆかりの品々を景品とした抽選会を楽しみました。

会には町長、町議会、商工会長、農協役員なども駆け付け60人以上の参加となり、最後は「ふるさと」を参加者全員で合唱して、盛会のうちに幕を閉じました。



▲左から中島交通安全協会会長、標語作者の藤田さん、竹俣町副町長

交通安全標語ステッカーが
町営バス用に寄贈される

10月24日、津別町交通安全協会(中島浩一会長)から、町営バス用の交通安全標語ステッカーが贈られました。

ステッカーは、長さ3メートルで、平成29年度交通安全標語コンクールで最優秀賞を受賞した藤田梨音さんと坂来凱さんの作品が印刷されており、車両の側面に貼付することで交通啓発に役立ててもらおうと寄贈されました。

中島会長は「この標語が町全体の注意喚起につながってほしい」と述べていました。



豊かな森づくりの財源として
9団体に感謝状を贈呈

11月19日、津別町有林オフセット・クレジット(J-V E R)感謝状の贈呈式が、役場で行われました。オフセット・クレジットとは、企業等が排出した二酸化炭素を、豊かな森林を所有する自治体から吸収分としてオフセット(相殺)する制度です。

平成29年度は、ソニー銀行(株)など9団体が、692トン分の二酸化炭素のクレジットを津別町の森林でオフセットし、町はその費用を森林づくりの充てることができました。贈呈式は、津別町から購入したことへの感謝として、毎年行われているものです。

当日は、北見玉葱振興会特別栽培部会等3団体が贈呈式に参加、町長より感謝状が贈られました。

第11回つべつりコーダーセミナーコンサート
全国の愛好者らの合奏が観客を魅了

10月28日、第11回つべつりコーダーセミナーコンサートが、中央公民館で開催されました。

津別町民芸術劇場(原田英機会長)と教育委員会の共催で行われたもので、全国からリコーダーの愛好者が集まり、2日間のセミナーを受講、最終日にその成果をコンサートで披露するものです。講師は日本リコーダー界の第一人者・金子健治氏ら4人。

コンサートでは、セミナー参加者約80人による全体合奏などのあと、講師による演奏も披露され、クラシックや童謡、映画音楽やポップスなどの音色に、訪れた観客らは聴き入っていました。

